

令和2年7月22日

山口県教育委員会会議議案

山口県教育委員会



## 議案

番号	件名	主管課	備考
1	山口県社会教育委員の委嘱について	地域連携推進室 教育推進室	公開

## 報告事項

番号	件名	主管課	備考
1	令和2年度山口県文化財専門員の選考採用について	社会教育・文化財課	公開

議案第1号

山口県社会教育委員の委嘱について

社会教育法（昭和24年法律第207号）第15条第2項及び山口県社会教育委員の委嘱の基準等に関する条例（昭和24年山口県条例第56号）第1条の規定により、次の者を山口県社会教育委員に委嘱する。

令和2年（2020年）7月22日

山口県教育委員会

## 山口県社会教育委員名簿(案)

任期：令和2年8月1日から令和4年7月31日まで

## ○学校教育の関係者

氏名	選任方法（推薦依頼団体・分野） 役職名	備考
岡田 淳子	団体推薦（山口県中学校長会） 岩国市立川下中学校長	新任
宮木 由紀子	団体推薦（山口県高等学校長協会） 山口県立下関南高等学校長	新任
作本 照子	団体推薦（山口県私立幼稚園協会） 学校法人西宝寺学園理事長 認定こども園伊佐中央幼稚園長	再任

## ○社会教育の関係者

藤井 恵子	団体推薦（山口県連合婦人会） 副会長	新任
俵 薫	団体推薦（山口県子ども会連合会） 副会長	再任
川崎 裕美	団体推薦（山口県PTA連合会） 会長	新任
銭廣 義和	団体推薦（山口県公立高等学校PTA連合会） 会長	新任
平田 武	団体推薦（山口県老人クラブ連合会） 会長	再任
秋本 修	団体推薦（山口県公民館連合会） 会長	再任

## ○家庭教育の向上に資する活動を行う者

松永 雅子	団体推薦（山口県保育協会） 愛児園平川保育所長	再任
松橋 美恵子	団体推薦（山口県地域活動連絡協議会） 会長	再任

## ○学識経験のある者

江原 健二	指名（教育行政経験者） 前 長門市教育委員会教育長	再任
田中 理絵	指名（大学関係者） 西南学院大学人間科学部 教授	再任
田原 文栄	指名（企業関係者） 株式会社 豆子郎 代表取締役社長	新任

## ○公募

伊藤 紀	公募 会社員	新任
------	-----------	----

山口県社会教育委員候補一覧表

参 考

任期：令和2年8月1日から令和4年7月31日まで

○学校教育の関係者

氏 名	所属・職業	主 な 活 動 歴 等
おくだ あつこ 岡田 淳子	団体推薦 山口県中学校長会 岩国市立川下中学校長	山口県教育庁社会教育文化財課 主幹 (H26.4~H28.3) 山口県教育庁社会教育文化財課 教育調整監 (H28.4~ H29.3) 岩国市立川下中学校長 (H29.4~)
みやぎ ゆきこ 宮木 由紀子	団体推薦 山口県高等学校長協会 山口県立下関南高等学校長	山口県教育庁人権教育課長 (H30.4~H31.3) 山口県立田部高等学校長 (H31.4~R2.3) 山口県立下関南高等学校長 (R2.4~)
さくもと てるこ 作本 照子	団体推薦 山口県私立幼稚園協会 学校法人西宝寺学園理事長 認定こども園伊佐中央幼稚園長	山口県私立幼稚園協会評議員 (H26.6~) 山口県私立学校審議会委員 (H28.7~) 学校法人西宝寺学園理事長 認定こども園伊佐中央幼稚園 長 (H18.9~)

○社会教育の関係者

ふじい けいこ 藤井 恵子	団体推薦 山口県連合婦人会 副会長	山口県連合婦人会理事 (H25.5~) 山口県連合婦人会副会長 (H29.5~) 宇部市婦人会協議会会長 (H30.4~)
たわら かおる 俵 薫	団体推薦 山口県子ども会連合会 副会長	美祢市子ども会育成連絡協議会会長 (H21.4~) 山口県子ども会連合会理事 (H21.6~H28.5) 山口県子ども会連合会副会長 (H28.6~)
かわさき ゆみ 川崎 裕美	団体推薦 山口県PTA連合会 会長	宇部市立厚南中学校顧問・宇部市PTA連合会顧問 (R1.6~) 山口県PTA連合会広報委員会委員長 (H27~H30) 山口県PTA連合会会長 (R1.6~)
ぜにひろ よしかず 銭廣 義和	団体推薦 山口県公立高等学校PTA連合会 会長	平生町立平尾中学校PTA会長 (H27.4~H30.3) 山口県立熊毛南高等学校PTA会長 (H30.4~) 山口県公立高等学校PTA連合会長 (H31.4~)
ひらた たけし 平田 武	団体推薦 山口県老人クラブ連合会 会長	山口県老人クラブ連合会理事 (H21.7~H26.11) 山口県老人クラブ連合会副会長 (H26.12~R01.6) 山口県老人クラブ連合会長 (R01.7~)
あきもと おさむ 秋本 修	団体推薦 山口県公民館連合会 会長	美祢市立大田小学校長 (H16.4~H22.3) 山口県ひとづくり財団生涯学習推進センター所長 (H22.4 ~H27.3) 山口県公民館連合会長 (H29.4~)

○家庭教育の向上に資する活動を行う者

まつなが まさこ 松永 雅子	団体推薦 山口県保育協会 保育士部会 副部会長	愛児園乳児保育所長 (H23. 7～H28. 3) 愛児園平川保育所長 (H28. 4～) 山口県保育協会保育士部会副部会長 (H29. 6～)
まつはしみ えこ 松橋美恵子	団体推薦 山口県地域活動連絡協議会 会長	宇部市子ども会育成連絡協議会長 (H21. 4～H26. 3) 山口県地域活動連絡協議会長 (H27. 4～) 山口県選挙管理委員 (H28. 12～)

○学識経験のある者

えはら けんじ 江原 健二	指名 教育行政経験者 前 長門市教育委員会教育長	山口県立下関南高等学校長 (H17. 4～H21. 3) 山口県公立高等学校 PTA 連合会事務局長 (H21. 4～H21. 5) 長門市教育委員会教育長 (H21. 5～H28. 3)
たなか りえ 田中 理絵	指名 大学関係者 西南学院大学人間科学部教授	山口大学講師 (H13. 4～H17. 3) 山口大学准教授 (H17. 4～R2. 3) 西南学院大学教授 (R2. 4～)
たはら ふみえ 田原 文栄	指名 企業関係者 株式会社豆子郎 代表取締役社長	教頭の長期社会体験研修への協力 (R1～) 株式会社豆子郎 常務取締役 (H15～H30) 株式会社豆子郎 代表取締役社長 (H30～)

○公募

いとう おきむ 伊藤 紀	公募 会社員	山陽小野田市ボランティア協議会委員 (H24) 山陽小野田市子ども会会長 (H27) 山陽小野田市ふるさとづくり協議会参事 (H27)
-----------------	-----------	---

計 15 名 (前回 : 15 名)

# 報告事項 1

## 令和 2 年度山口県文化財専門員の選考採用について

### 1 職種

文化財専門員（考古）

### 2 採用予定日

令和 3 年 4 月 1 日

### 3 採用予定人員

1 名程度

### 4 職務内容

教育委員会事務局、博物館、埋蔵文化財センター（指定管理）において、埋蔵文化財等に関する業務、その他の行政事務に従事。

○埋蔵文化財の保護・活用

○埋蔵文化財の発掘調査の指導・調整

○考古資料（遺構、遺物）等に関する調査研究、資料収集、展示、教育普及、研究発表等

○その他、文化財保護行政に関すること

### 5 応募資格

次のいずれにも該当する者。

ア 昭和 5 1 年（1976 年）4 月 2 日以降に生まれた者

イ 大学又は大学院で、考古学又は文化財学を専攻又は研究した者で、大学院の修士課程修了（令和 3 年 3 月 31 日までに修了見込みの者を含む。）又は、同等の研究経験・実務経験を有する者

ウ 学芸員の資格を有する者

（令和 3 年 3 月 31 日までに資格取得見込みの者を含む。）

### 6 応募書類の受付期間

令和 2 年 7 月 3 0 日（木）から令和 2 年 8 月 3 1 日（月）まで

### 7 選考の期日

- |             |                       |    |                      |
|-------------|-----------------------|----|----------------------|
| (1) 第 1 次選考 | 令和 2 年 9 月中旬          | …… | 書類選考                 |
| (2) 第 2 次選考 | 令和 2 年 1 0 月 1 1 日（日） | …… | 面接試験、適性検査<br>会場：山口県庁 |
| (3) 合格者発表   | 令和 2 年 1 1 月下旬        |    |                      |



# 令和2年度山口県文化財専門員（考古）選考採用 募集案内(令和3年度採用予定)

令和 2年 7月  
山口県教育委員会

今後の新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況等によっては、実施内容の変更（試験の延期・試験会場の変更等）を行う場合があります。

変更がある場合は、山口県ホームページの「募集・試験案内」においてお知らせしますので、必ず確認をしてください。

また、第1次選考（書類審査）合格者については、選考結果をお知らせする通知に、第2次選考における留意事項（マスク着用の有無等）が記載されていますので、必ず確認の上、試験会場へお越しください。

## 1 職種、専門分野、採用予定人員及び職務内容等

職種	文化財専門員（考古）
専門分野	考古学、文化財学
採用予定人員	1名程度
職務内容等	山口県教育委員会事務局、山口県立山口博物館、山口県埋蔵文化財センター（指定管理）において、埋蔵文化財等に関する業務その他の行政事務に従事します。  ○埋蔵文化財の保護・活用 ○埋蔵文化財の発掘調査の指導・調整 ○考古資料（遺構、遺物）等に関する調査研究、資料収集、展示、教育普及、研究発表等 ○その他、文化財保護行政に関すること

## 2 採用予定日 令和3年4月1日

## 3 応募資格

(1) 次のいずれにも該当する者が応募できます。

ア 昭和51年（1976年）4月2日以降に生まれた者

イ 大学又は大学院で考古学又は文化財学を専攻又は研究した者で、大学院の修士課程修了（令和3年3月31日までに修了見込みの者を含む。）又は、同等の研究経験・実務経験を有する者

ウ 博物館法（昭和26年法律第285号）に定める学芸員の資格を有する者（令和3年3月31日までに資格取得見込みの者を含む。）

(2) 上記（1）にかかわらず、次のいずれかに該当する者は応募できません。

ア 日本国籍を有しない者

イ 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者

ウ 山口県において懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者

- エ 日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者
- オ 平成 11 年改正前の民法の規定による準禁治産の宣告を受けている者（心身耗弱を原因とするもの以外）

#### 4 選考方法

- (1) 第 1 次選考 令和 2 年 9 月中旬に書類選考を行います。  
選考結果は、合否にかかわらず応募者全員に通知します。

区 分	配点	審 査 内 容
書類審査	225 点	提出された職務等経歴書等に基づき、書類審査を行います。

- (2) 第 2 次選考 第 1 次選考合格者について、令和 2 年 10 月 11 日(日)に行います。  
試験会場は、以下のとおりです。  
山口県山口市滝町 1-1 山口県庁本館棟 14 階 教育庁 1 号会議室等  
最終合格者の発表時期は、11 月下旬を予定しています。

区 分	配点	試 験 内 容
面接試験Ⅰ 適性検査	250 点	人物について総合的に評定するため、個別面接及び適性検査を行います。

※各選考において一定の基準に満たない場合は不合格となります。

#### 【採用時の職位の審査（実務経験が 7 年以上かつ 30 歳以上の者が対象）】

区 分	試 験 内 容
面接試験Ⅱ	事前に提出された職務等経歴書等に基づき、試験官による質疑応答を行います。

#### 5 応募手続

- (1) 応募書類の請求

応募に必要な書類は、山口県教育庁社会教育・文化財課（〒753-8501 山口県山口市滝町 1 番 1 号）に請求してください。山口県教育委員会のホームページからダウンロードすることもできます。

郵便で請求する場合は、封筒の表に「文化財専門員応募書類請求」と朱書きし、住所、氏名及び郵便番号を明記し、140 円分の切手を貼った返信用封筒（角形 2 号：縦 33 cm、横 24 cm 程度の大きさ）を必ず同封してください。

- (2) 提出書類

- ア 職務等経歴書（別紙様式 1）
- イ 最終学校卒業（見込）証明書  
大学院修了（見込）者は、大学の卒業証明書も添付してください。
- ウ 最終学校成績証明書（全学年記入のもの）  
大学院修了（見込）者は、大学の成績証明書も添付してください。
- エ 学芸員資格（取得見込）証明書
- オ 研究調査業績調書（別紙様式 2）
- カ 埋蔵文化財発掘調査に関する主な経歴（別紙様式 3）  
従事期間、遺跡名、調査機関名、業務内容等を記載してください。
- キ 展示・講座に関する主な経歴（別紙様式 4）  
従事期間、展示企画展名・講座名、展示内容・講座対象者・人数、実施機関名、業務内容等を記載してください。
- ク 添付するもの

- ・主要な業績（修士論文又はこれに相当するもの）の原本又はその写し（2点以内）
- ・原本又はその写しを提出する主要な業績のうち、1点の要約（4000字以内）

### (3) 提出方法

受付期間	令和2年7月30日（木）から令和2年8月31日（月）まで
提出方法	<p>郵送又は持参による方法がありますが、<u>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、持参は極力避け、郵送により提出してください。</u></p> <p>○郵送による場合          上記提出書類に必要事項を記入し、下記提出先へ郵送してください。          郵送にあたっては、封筒の表に「文化財専門員採用応募書類在中」と朱書きし、必ず特定記録郵便等の確実な方法により送付してください。          令和2年8月31日（月）までの消印のあるものは有効とします。</p> <p>○持参による場合          上記提出書類に必要事項を記入し、受付期間（土曜日、日曜日及び国民の祝日に関する法律に規定する休日を除く）の午前8時30分から午後5時15分までに下記提出先へ提出してください。</p>
提出先	山口県教育庁社会教育・文化財課 〒753-8501 山口県山口市滝町1番1号

### (4) その他

応募書類は返却しませんので、御注意ください。

## 6 採用後の任用

- (1) 採用後は、原則として一般職の文化財保護主事もしくは学芸員としての任用になります。
- (2) 採用時において、学芸員資格を有していない場合は、採用される資格を失います。
- (3) 埋蔵文化財発掘調査及び発掘調査報告書作成等の実務経験もしくは学芸員としての実務経験が、7年以上かつ30歳以上の方については、別途、職務等経歴書等及び面接試験Ⅱに基づき、より上位の職位での格付け（主任主事級文化財専門員、主任級文化財専門員もしくは専門学芸員、主任級学芸員）について審査を行います。

## 7 給与

初任給は、各人の経歴によって異なりますが、おおむね下表のとおりです。

区分	勤務地	初任給
○文化財保護主事 (24歳で採用の場合)	教育委員会事務局 埋蔵文化財センター	201,200円
○学芸員 (24歳で採用の場合)	博物館	209,800円
○主任主事級文化財専門員 (30歳で採用の場合)	教育委員会事務局 埋蔵文化財センター	246,600円
○専門学芸員 (30歳で採用の場合)	博物館	266,300円
○主任級文化財専門員 (40歳で採用の場合)	教育委員会事務局 埋蔵文化財センター	289,000円
○主任級学芸員 (40歳で採用の場合)	博物館	313,900円

このほか、扶養手当、住居手当、通勤手当、時間外勤務手当、期末手当、勤勉手当等の諸手当がそれぞれ支給要件に応じて支給されます。

## 8 選考結果の開示

(1) この選考の結果については、山口県個人情報保護条例第19条の規定により、下表に基づき、口頭による開示の申出をすることができます。

選考	開示申出ができる者	開示内容	開示期間	開示場所
第1次選考	受験者	得点及び順位	各選考の合格発表日から1年間	山口県教育庁社会教育・文化財課 (山口県庁本館棟13階)
第2次選考				

(2) 電話、ハガキ等による開示の申出はできません。

(3) 開示を申し出る場合は、運転免許証など本人確認ができるものを持参のうえ、開庁日(土曜日、日曜日及び国民の祝日に関する法律に規定する休日を除く)の午前8時30分から午後5時15分までに、本人が直接開示場所へおいでください。

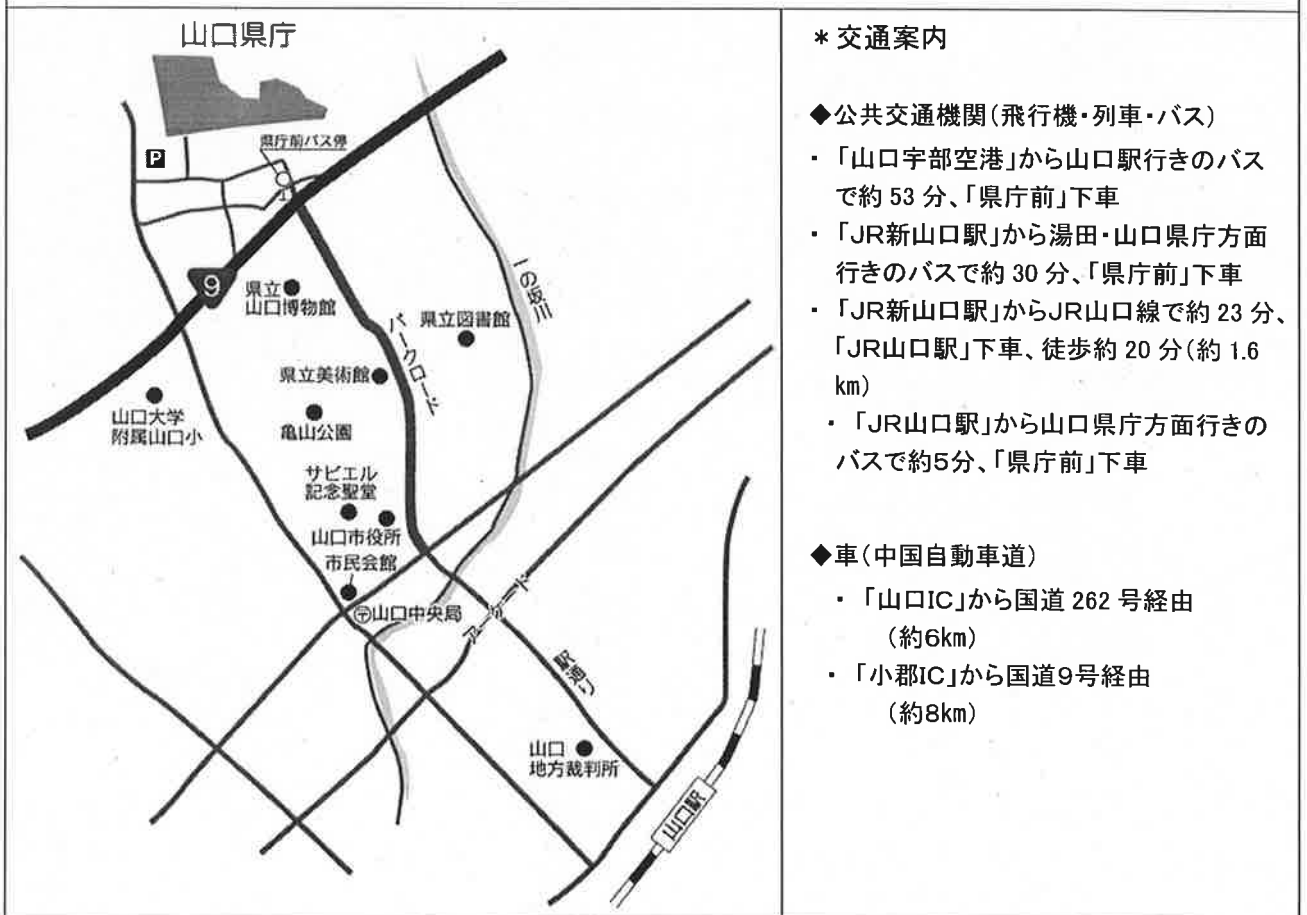
## 9 お問い合わせ先

山口県教育庁社会教育・文化財課

〒753-8501 山口県山口市滝町1番1号

電話 083-933-4650

## 試験会場案内図



### \* 交通案内

#### ◆公共交通機関(飛行機・列車・バス)

- ・「山口宇部空港」から山口駅行きのバスで約53分、「県庁前」下車
- ・「JR新山口駅」から湯田・山口県庁方面行きのバスで約30分、「県庁前」下車
- ・「JR新山口駅」からJR山口線で約23分、「JR山口駅」下車、徒歩約20分(約1.6km)
- ・「JR山口駅」から山口県庁方面行きのバスで約5分、「県庁前」下車

#### ◆車(中国自動車道)

- ・「山口IC」から国道262号経由(約6km)
- ・「小郡IC」から国道9号経由(約8km)



年	月	職歴等
	月から 月まで	
	月から 月まで	
	月から 月まで	
	月から 月まで	
	月から 月まで	

免許・資格等

年	月	免許・資格等

志望動機等


私は、募集案内に掲げてある応募資格をすべて満たしており、また、この職務等経歴書のすべての記載内容は事実と相違ありません。

令和 年 月 日

応募者氏名  
(自 署)

(様式2)

氏名 \_\_\_\_\_

## 研究調査業績調書

主な論文、報告書等の執筆・参画歴

○印	題名	内容(20字×10行)	担当部分	発表の時期及び方法

○印	題 名	内容（20字×10行）	担当部分	発表の時期 及び方法

\*記入欄が不足する場合は継紙により記入してください。

\*記入方法

研究調査業績の記入は次の区分順序とし、同一事項のものについては年代順に記入してください。

(1) 修士論文等（卒業論文・修士論文・博士論文を明示してください）

(2) 著書（単著・共著・編著を明示してください）(3) 論文（学会誌・論文集等に発表したもの）

(4) 研究調査報告、埋蔵文化財発掘調査報告 (5) 口頭発表

\*内容欄は、200字以内で記載してください。

\*担当部分欄は、分担した内容（文章執筆、図面作成等）を記載してください。

\*研究調査業績で代表的なもの2件に○印をつけてください。







